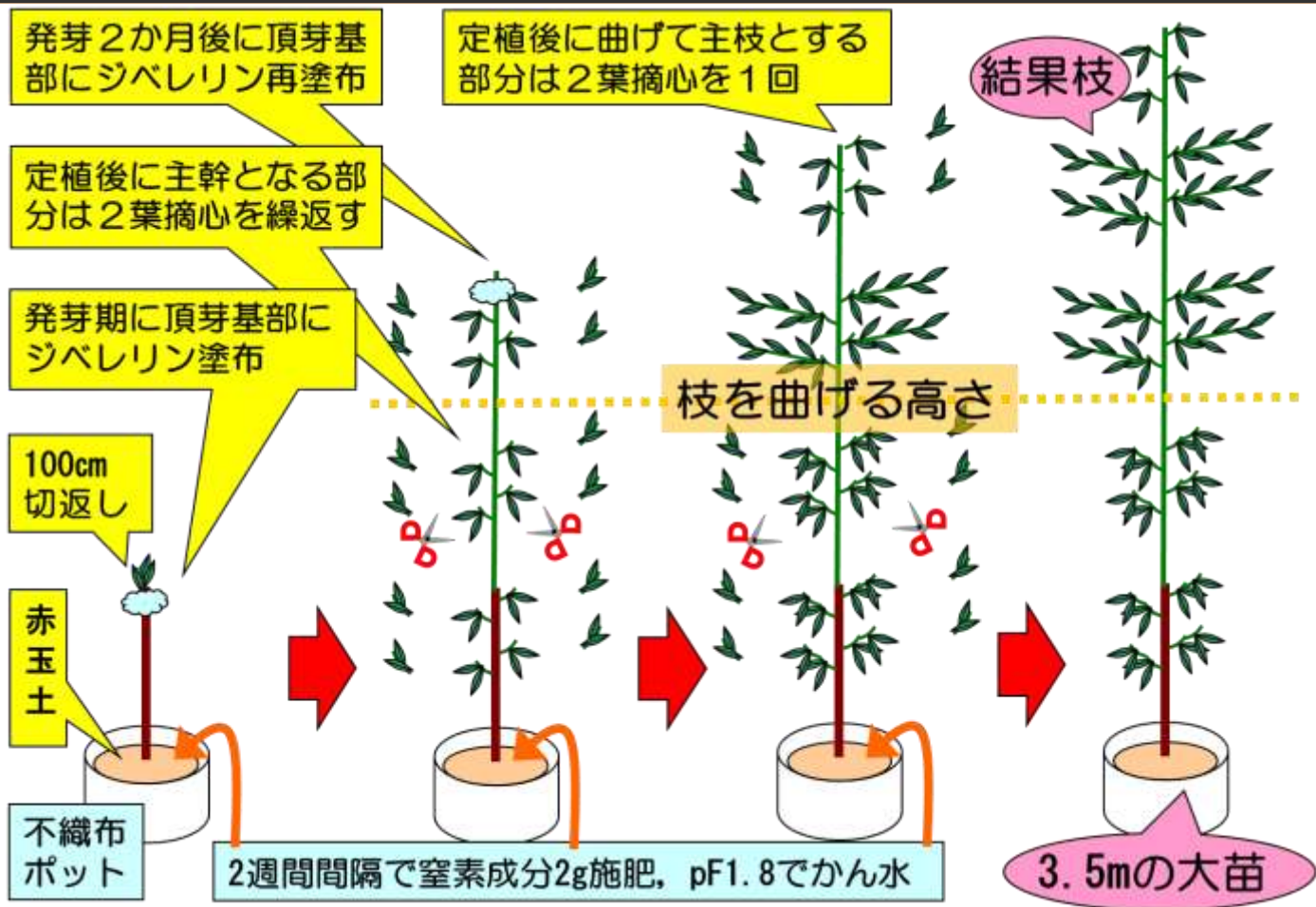


モモの樹体ジョイント仕立てに適した育苗法

赤玉土を用い、地上100cmで切り返しを行い、ジベレリンペーストを処理し、副梢を2葉摘心することで、樹体ジョイント仕立てに適した3.5mの大苗が育成できます。
農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(平成21年度~24年度)



【 新たな育苗方法の特徴 】

- 1) 小粒の赤玉土とバーク堆肥(2:1)を培養土とします。
- 2) 定植後に主枝を曲げる際の枝折れを防ぐため、地上1mで切り返しを行います。
- 3) 定植後に主枝となる部分(曲げる部分も含めて高さ1.7mより高い位置)の副梢は、2週間間隔で発生を確認し、2葉で1度だけ摘心します。定植後に主幹となる部分(高さ1.7m以下の位置)の副梢は2葉摘心を繰り返します。
- 4) ジベレリンペースト剤を4月および6月の2回、頂芽の基部に100mgずつ塗布します。